

(様式2)

平成26年7月14日

職業実践専門課程等を通じた専修学校の質保証・向上の推進 平成26年度「Ⅲ.「職業実践専門課程」に係る取組の推進 (ii) 「職業実践専門課程」の各認定要件等に関する先進的取組の推進」事業計画書

文部科学省生涯学習政策局長 殿

所在地 〒106-8541 東京都港区六本木6-4-1
六本木ヒルズ ハリウッドプラザ

法人名 学校法人メイ・ウシヤマ学園

(学校名) ハリウッドビューティ専門学校

代表者 理事長 山中 祥弘 印
職氏名

職業実践専門課程等を通じた専修学校の質保証・向上の推進 平成26年度「Ⅲ.「職業実践専門課程」に係る取組の推進 (ii) 「職業実践専門課程」の各認定要件等に関する先進的取組の推進」の事業計画書を提出します。

職業実践専門課程等を通じた専修学校の質保証・向上の推進 平成26年度「Ⅲ. 「職業実践専門課程」に係る取組の推進 (ii) 「職業実践専門課程」の各認定要件等に関する先進的取組の推進」に関する事業計画書

1. 事業の概要

(1) 事業のテーマ 職業実践専門課程の美容分野における質保証・向上を推進するための学校評価制度の開発と構築
(全角40字以内)

(2) 事業実施期間 委託を受けた日から平成27年3月13日まで

(3) 事業の概要 (200字程度)

職業実践専門課程に期待される「職業教育の充実」を先導的に進めるための学校評価制度について研究を深め、評価方法の開発とその運用制度の構築を行う。そのために、「学校関係者評価」を恒常的・発展的に進めるための方法、その先に位置づけられる「第三者評価」のあるべき姿などについて、産業界、行政、高等学校、有識者から構成される、「美容学校評価研究コンソーシアム」を組織し、具体的な評価方法の開発、発展的運用のための制度構築に関する議論を重ねる。

2. 事業内容の説明

(1) 事業実施の成果目標 (事業の成果物を明示して具体的に記載)

①学校評価に対する具体的なニーズの調査報告書

- ・300以上の美容サロン、各種サロン、化粧品メーカー等に対するアンケート調査の実施・分析結果
- ・300以上の高等学校(普通科、定時制・通信制交えて)に対するアンケート調査の実施・分析結果
- ・300人以上の保護者、学生、地域住民等に対するアンケート調査の実施・分析結果

②職業実践専門課程を持つ学校の評価モデル報告書

職業実践専門課程を持つ学校が実施すべき評価の方法に関する具体的な提言をまとめたもの

(2) 事業の内容について ((1) を達成するための方法を具体的に、詳細に記載)

① 会議

- ・美容学校評価研究コンソーシアム・研究委員会 3回開催 (9月、11月、2月)

目的 : 本事業の方針を決定し、分科会が行う具体的な活動について指示・監督する

体制 : 委員長1名、教育団体関係者6名、業界関係者6名、有識者5名、事務局6名。合計24名

- ・調査分科会 2回開催 (9月、11月)

目的 : 下記②に示した各調査の実施・分析

体制 : 調査について直接的に関与する委員に、調査を実際に行う企業等を加える

- ・評価モデル分科会 2回開催 (11月、1月)

目的 : 下記③に示した学校の評価モデルの開発

体制 : 委員のうちの有識者を中心として、モデル構築の経験を持った要員を加える

② 調査

A 学校評価に対する美容業界のニーズ調査 : アンケート調査

目的 : 人材育成の出口側にあたる美容業界の学校評価に対するニーズを明らかにする

対象、規模 : 美容サロン、各種サロン (エステ、ネイル等)、化粧品メーカー等300社以上

実施体制 : 調査分科会で調査項目検討。調査票の作成・送付・集計等の雑役務は外部依頼。

B 学校評価に対する美容業界のニーズ調査 : アンケート調査

目的 : 人材育成の入口側にあたる高等学校の学校評価に対するニーズを明らかにする

対象、規模 : 高等学校 (普通科、総合高校、職業高校等、定時制・通信制含む) 300校以上

実施体制 : 調査分科会で調査項目検討。調査票の作成・送付・集計等の雑役務は外部依頼。

C 学校評価に対する当事者 (保護者、学生、地域住民等) のニーズ調査 : アンケート調査

目的 : 人材育成の対象である学生とその周辺の学校評価に対するニーズを明らかにする

対象、規模 : 学生及び保護者、地域住民等300名以上

実施体制 : 調査分科会で調査項目検討。調査票の作成・送付・集計等の雑役務は外部依頼。

③ モデル開発

目的 : 職業実践専門課程を持つ専門学校の持続的発展につながる学校評価モデルを開発

実施体制 : 調査結果や学校評価制度を基に、評価モデル分科会が素案を作成。委員会で検討

④ 成果のとりまとめ等

- ・事業成果報告書 (事業の実施内容及び分析結果) の公開、関係機関への配布

規模、手法 : 300冊印刷・配布 (教育機関100冊、関係企業等100冊、その他)。HPでの公開。

- ・成果報告会の実施

規模、手法 : 事業成果報告書の配布先等に案内し、100名程度の規模の報告会を実施予定

(3) 事業終了後の方針について（成果の活用、継続性、発展性 等）

本年度において開発した評価モデルは、次年度においてモデル事業として実施し、その効果等を検証する。また、次年度においては、開発・検証した評価方法を採り入れた学校関係者評価や第三者評価の制度構築を行う。これらの成果を基に、美容教育の持続的な発展を図るための組織の編成につなげる。

(4) 事業実施における特記事項について

本事業の特色や文科省事業の中での位置づけとして強調したい点を、以下特記事項として記す。

●**職業実践専門課程の認定要件との関係（別添資料1参照）**

本事業は、職業実践専門課程の認定要件のうち、「学校評価及び情報提供」に関する問題の解決を図ろうとするものである。すなわち、職業実践専門課程としての認定を受けるための「学校関係者評価」が、現状のようなものであっては、学校の持続的な発展にとって十分でなく、多くの利害関係者が参加できる学校関係者評価、第三者評価の仕組み構築が欠かせないとの認識を起点としている。

●**新しい学校評価の仕組みを考える基軸（別添資料2、3参照）**

この仕組み構築の前提となる新しい評価方法の開発にあたっては、「『学習の高付加価値化』を図ることが、学修の質の向上・保証につながる」との考えを基軸とし、これを指標・目標に据えた評価の体系を考えることとした。本年度の中心となる「調査」においても、この指標・目標の向上に貢献する項目をリストアップし、産業界や高等学校からのニーズと照合するように検討する。

●**本事業の全体計画と今年度事業の位置づけ（別添資料4参照）**

本事業の全体は2年計画で実施する。1年目は、上述の考え方を基軸として、学校評価に対する多面的なニーズ（業界側から、支援者側から、高等学校側からなど）の調査を主体とし、その結果を基にした新しい評価のモデルを構築・提言するところまでを実施する。

2年目は、1年目の実績を基にした学校評価に関するモデル事業を実施する。すなわち、1年目の成果を公開し、美容分野の専門学校に広く呼びかけを行い、学校関係者評価や第三者評価を実証実験的に実施する。そして、その実施結果を基に、学校関係者評価や第三者評価の制度モデルを提唱したいと考えている。そのあかつきには、美容分野の学校評価を担える専門家が集う組織を編成し、継続的・発展的に学校評価を推し進めたい。

なお、本計画を実施する上では、学校評価に関して多くの実績を持ち、かつ、産業界に幅広いネットワークを持った本校が、まず、スピード感のある調査を実施して、多くの学校で役立つ調査結果や、多くの学校で適用可能なモデルを構築するなど先導的な役割を果たすべきと考える。したがって、1年目はスピードを優先した体制で臨み、事業成果、モデル事業の趣旨などを公開して、美容業界や美容教育機関からの支持を得て2年目に臨みたいと考えている。

3. 事業のスケジュール

内容	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
研究委員会			●		●			●	
調査分科会			●		●				
評価モデル分科会					●		●		
成果報告会								●	
調査	→								
評価モデル開発					→				
とりまとめ									→

4. 事業実施体制

(1) 事業実施者の構成

氏名	所属・職名	役割等	所属機関のURL
山中 祥弘 (教育団体関係者)	学校法人メイ・ウシヤマ学園理事長	事業責任者	http://www.hollywood.ac.jp/
一色 真司	代々木高等学校校長・NPO『21世紀教育研究所』理事長	評価モデル	http://www.yovogi.ed.jp/index.php
江夏 健一	ビューティビジネス学会会長	調査	http://jabb.jp/
川口 昭彦	独立行政法人 大学評価・学位授与機構顧問	助言・支援	http://www.niad.ac.jp/
徳重 隆	公益財団法人 全国高等学校定時制通信制教育振興会 事務局長	調査	http://www.kokotto.com/
本多 浩一	東京都立六本木高等学校 校長	評価モデル	http://www.roppongi-h.metro.tokyo.jp/
真崎 裕子 (業界関係者)	特定非営利活動法人 私立専門学校等評価研究機構 事務局長	助言・支援	http://www.hyouka.or.jp/
柿本 哲	kakimotoarms 代表取締役	評価モデル	http://www.kakimoto-arms.com/
佐藤 友彦	AXIS 取締役	評価モデル	http://www.hairaxis.com/
長尾 哲治	東京都化粧品装粧品小売協同組合	調査	http://beaute-tokyo.com/
福島 吉範	ICD世界美容家協会理事・東京美容家集団副会長	調査	http://www.intercoiffure.jp/
増保 利行	きくや美粧堂 代表取締役社長	評価モデル	http://www.kikuya-bisyodo.co.jp/
渡邊 雅美 (有識者)	日本美容技術振興センター 副理事長	評価モデル	http://www.jbtp.or.jp/
江島 夏実	法政大学経営学部講師	評価モデル	http://www.hosei.ac.jp/
上妻 博明	元衆議院内閣調査室長	評価モデル	
野嶋 朗	リクルートライフスタイルビューティ総研センター長	調査	http://r-bmr.net/
花岡 萬之	学事出版 副社長	調査	http://www.gakuii.co.jp/
麦谷 真里 (事務局)	ハリウッド大学院大学客員教授・元厚生労働省審議官	評価モデル	http://www.hollywood.ac.jp/mba/
川島鋼太郎	学校法人メイ・ウシヤマ学園 国際交流センター長	事務局	http://www.hollywood.ac.jp/
関根 安雄	ハリウッドビューティ専門学校 教務部長	事務局補佐	http://www.hollywood.ac.jp/
福士寿美江	ハリウッドビューティ専門学校 教務部主任	事務局補佐	http://www.hollywood.ac.jp/
今井 利絵	ハリウッド大学院大学 教授	事務局補佐	http://www.hollywood.ac.jp/mba/
小川 朝子	ハリウッド大学院大学 助手	事務局補佐	http://www.hollywood.ac.jp/mba/
藁地 章子	桜美林大学博士課程	事務局補佐	http://www.hollywood.ac.jp/

(2) 事業実施協力機関等 (企画実施委員会、有識者会議、コンソーシアム等の構成を記載)

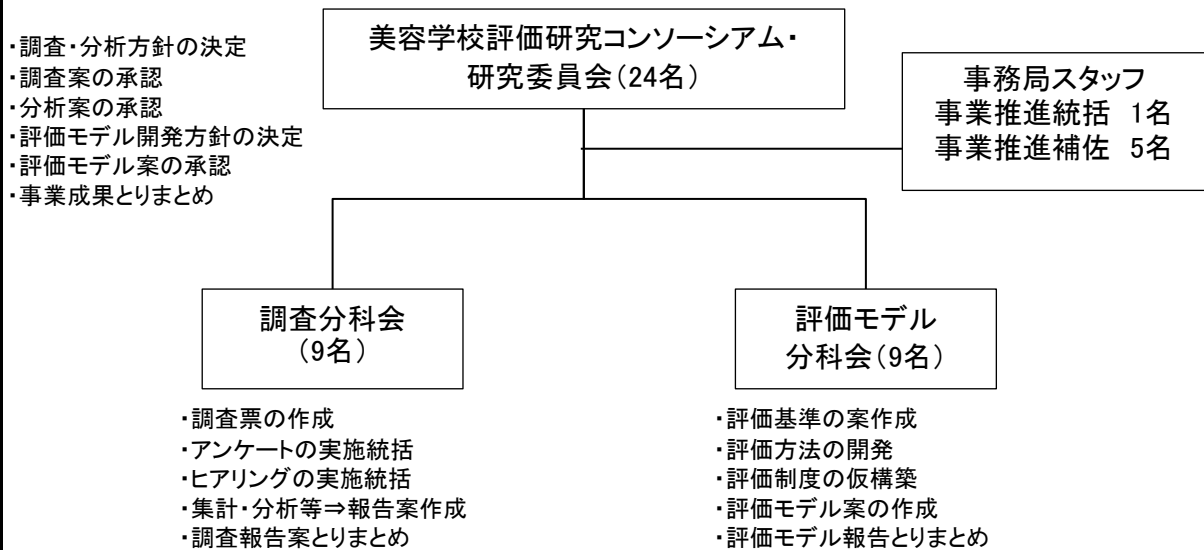
名称【美容学校評価研究コンソーシアム・研究委員会】	名称	具体的な協力方法	団体等のURL
ハリウッドビューティ専門学校	全体統括・事務局	http://www.hollywood.ac.jp/	
ハリウッド大学院大学	全体統括支援・事務局	http://www.hollywood.ac.jp/mba/	
特定非営利活動法人 私立専門学校等評価研究機構	助言・支援	http://www.hyouka.or.jp/	
東京都化粧品装粧品小売協同組合	調査分科会	http://beaute-tokyo.com/	
ICD世界美容家協会	調査分科会	http://www.intercoiffure.jp/	
学事出版	調査分科会	http://www.gakuii.co.jp/	
リクルートライフスタイルビューティ総研	調査分科会	http://r-bmr.net/	
公益財団法人 全国高等学校定時制通信制教育振興会	調査分科会	http://www.kokotto.com/	
ビューティビジネス学会	調査分科会	http://jabb.jp/	
AXIS	評価モデル分科会	http://www.hairaxis.com/	
kakimotoarms	評価モデル分科会	http://www.kakimoto-arms.com/	
きくや美粧堂	評価モデル分科会	http://www.kikuya-bisyodo.co.jp/	
日本美容技術振興センター	評価モデル分科会	http://www.jbtp.or.jp/	
東京都立六本木高等学校	評価モデル分科会	http://www.roppongi-h.metro.tokyo.jp/	
代々木高等学校	評価モデル分科会	http://www.yovogi.ed.jp/index.php	

(3) その他下部組織等 (設置は任意)

名称【調査分科会】		
団体名、機関名等	具体的な協力方法	団体等のURL
東京都化粧品化粧品小売協同組合	調査対象の選定(産業界)、情報提供等	http://beaute-tokyo.com/
ICD世界美容家協会	調査票の設計等	http://www.intercoiffure.jp/
学事出版	調査票の設計等	http://www.gakui.co.jp/
リクルートライフスタイルビューティ総研	調査結果の集計・分析、調査取りまとめ	http://r-bmr.net/
公益財団法人 全国高等学校定時制通信制教育振興会	調査対象の選定(高等学校)、情報提供等	http://www.kokotto.com/
ビューティビジネス学会	調査対象の選定(各種支援者)、情報提供等	http://iabb.jp/

名称【評価モデル分科会】		
団体名、機関名等	具体的な協力方法	団体等のURL
AXIS	評価方法の検討・案作成、評価モデルとりまとめ	http://www.hairaxis.com/
kakimotoarms	評価方法の検討・案作成、評価モデルとりまとめ	http://www.kakimoto-arms.com/
きくや美粧堂	評価方法の検討・案作成	http://www.kikuya-bisvodo.co.jp/
日本美容技術振興センター	評価方法の検討・案作成	http://www.jbtp.or.jp/
東京都立六本木高等学校	評価方法の検討・案作成	http://iabb.jp/
代々木高等学校	評価方法の検討・案作成、評価モデルとりまとめ	http://www.voyogi.ed.jp/index.php

(4) 事業の推進体制 (図示)



5. 文部科学省との連絡担当者(事業責任者/事務担当者)

氏名	山中 祥弘/川島鋼太郎		
所属・役職	学校法人メイ・ウシヤマ学園理事長/学校法人メイ・ウシヤマ学園 国際交流センター長		
郵便番号	106-8541	所在地	東京都港区六本木6-4-1六本木ヒルズハリウッドプラザ
電話番号	03-3408-5020	FAX番号	03-3423-6092
E-mail	kawashima@hollywood.ac.jp		